

氏名 \_\_\_\_\_

I. 今回の社会医学サマーセミナーは、次のことに役立ちましたか。「大いに役立った」(1)から「役立たなかった」(4)まで、当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

	大いに役立った。	役立った。	どちらとも言えない。	役立たなかった。
1. 社会医学全体に対する理解	1	2	3	4
2. 厚生労働行政に対する理解と関心の向上	1	2	3	4
3. 社会医学における新しい知識の習得	1	2	3	4
4. 社会医学の領域の研究についての理解	1	2	3	4
5. 他大学の学生との交流	1	2	3	4
6. 他大学の教官との交流	1	2	3	4
7. 将来の進路の決定	1	2	3	4
8. 防災についての理解	1	2	3	4

\*その他、今回のサマーセミナーで役立ったことについて自由にお書き下さい。

II. サマーセミナーのプログラムとしてグループワークを行いました。これについてどう思いますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- 1. とてもよかった。
- 2. よかった。
- 3. どちらとも言えない。
- 4. よくなかった。

\*その他、グループワークについて、感想等自由にお書き下さい。

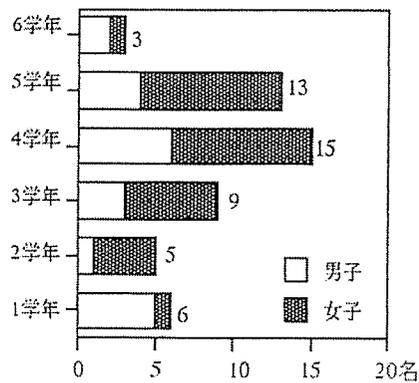


## サマーセミナー参加学生に実施したアンケートの集計結果

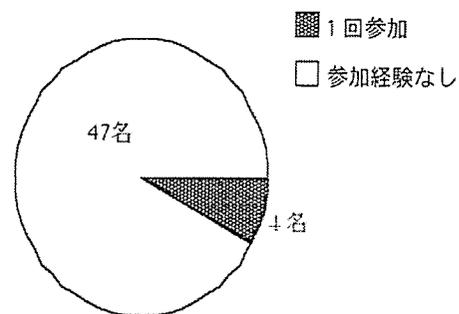
セミナーを通じて社会医学に対する学生の意識がどのように変化したかを調査するためにアンケートを実施いたしました。アンケートは、サマーセミナー開始前と終了時に回答してもらいました。回答者は、開始前49名/51名中、終了時49名/51名中でした。

### 1、学生の構成

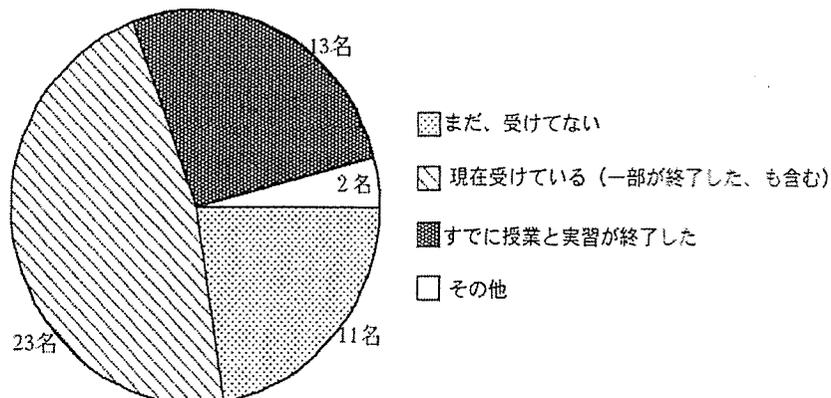
(1) 参加学生の学年



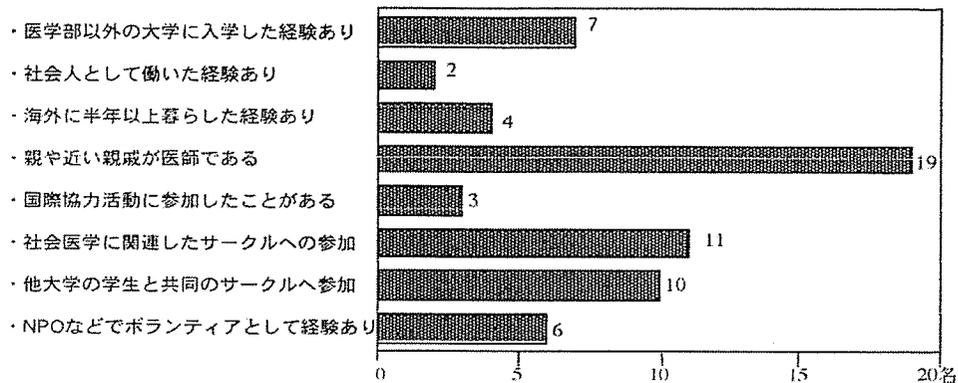
(2) 参加学生の過去セミナー参加回数



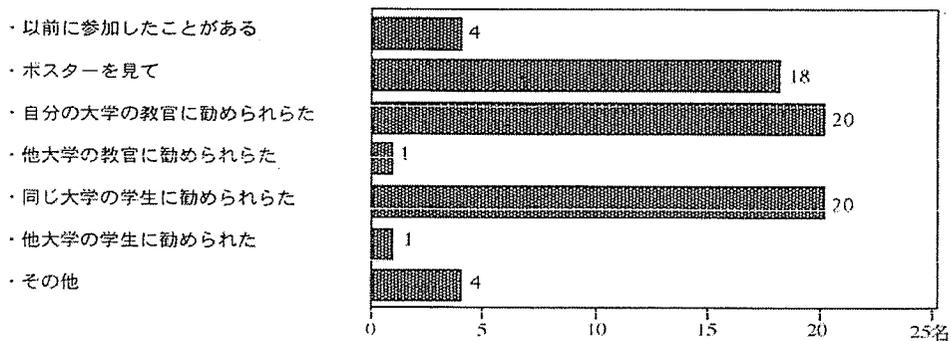
(3) 社会医学の授業の受講状況



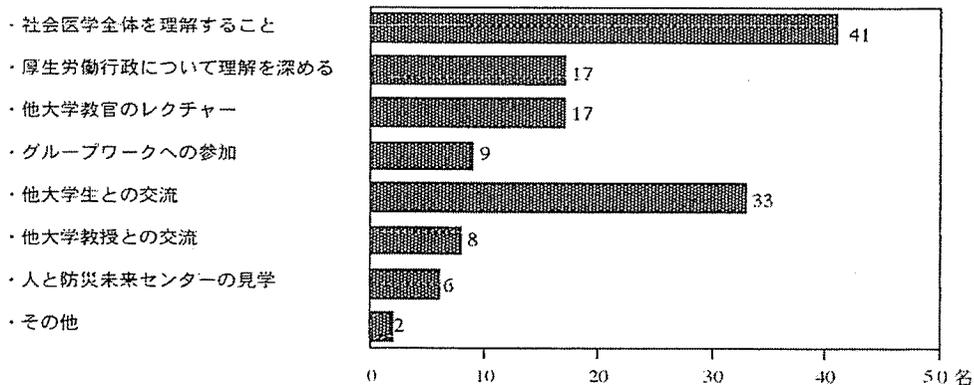
(4) 参加学生の過去の活動等 (複数選択可)



(5) 参加のきっかけ (複数選択可)



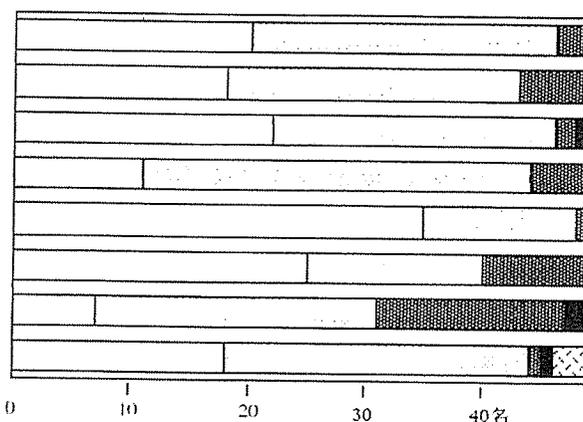
(6) 参加の目的 (3つ選択可)



## 2. セミナーを通して学生の意識変化の状況

### (1) セミナーは役だったか？

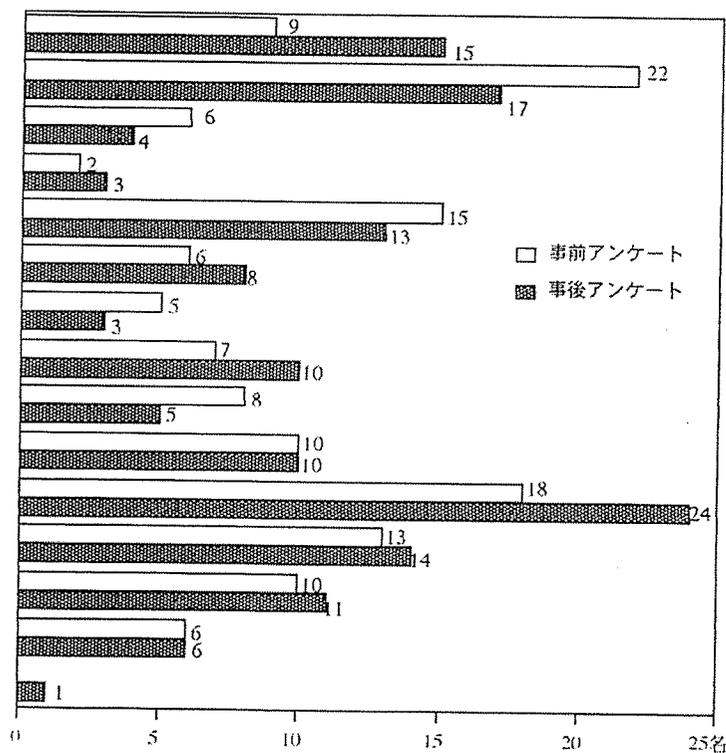
- ・社会医学全体に対する理解
- ・厚生労働行政に対する理解と関心の向上
- ・社会医学における新しい知識の習得
- ・社会医学の領域の研究についての理解
- ・多大学の学生との交流
- ・他大学の教官との交流
- ・将来進路の決定
- ・防災についての理解



□ 大いに役立った □ 役だった ■ どちらともいえない ■ 役立たなかった ▨ その他

### (2) 社会医学の中で関心のある分野は？

- 1) 衛生行政
- 2) 疾病予防・健康増進
- 3) 環境保健
- 4) 食品衛生
- 5) 地域保健
- 6) 母子保健
- 7) 学校保健
- 8) 産業保健
- 9) 老人保健・福祉
- 10) 精神保健
- 11) 国際保健医療
- 12) 医療制度
- 13) 病院管理・医療経済
- 14) 疫学
- 15) その他

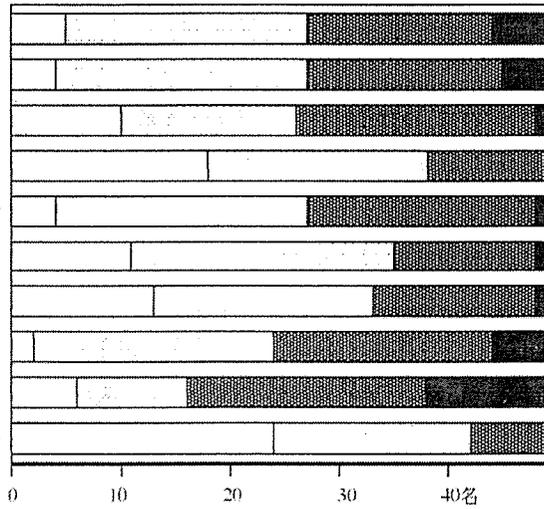


(3) 将来は？

セミナーの開始前と終了後に将来に関して同じ質問をしました。

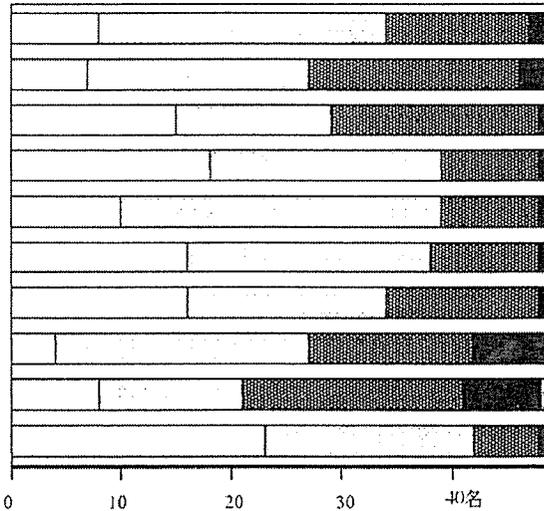
事前アンケートより

- ・厚生労働行政での政策立案に関わりたい
- ・地域の保健所や保健センターで働きたい
- ・途上国での医療保健活動等に参加したい
- ・臨床分野で働きたい
- ・社会医学「衛生学公衆衛生学」の研究をしたい
- ・地域医療・プライマリケアに従事したい
- ・国際機関等で仕事がしたい
- ・最先端の科学技術を使った仕事がしたい
- ・産業医として仕事がしたい
- ・ひとりひとりの患者と向かい合う仕事をしたい



事後アンケートより

- ・厚生労働行政での政策立案に関わりたい
- ・地域の保健所や保健センターで働きたい
- ・途上国での医療保健活動等に参加したい
- ・臨床分野で働きたい
- ・社会医学「衛生学公衆衛生学」の研究をしたい
- ・地域医療・プライマリケアに従事したい
- ・国際機関等で仕事がしたい
- ・最先端の科学技術を使った仕事がしたい
- ・産業医として仕事がしたい
- ・ひとりひとりの患者と向かい合う仕事をしたい



とてもしたい  
  ややしたい  
  あまりしたくない  
  全くしたくない  
  その他

## 第 10 回社会医学サマーセミナーについてのアンケート調査用紙

サマーセミナー参加学生に実施したアンケートの集計結果

社会医学サマーセミナー参加学生フォローアップ調査結果概要



5. 卒後の進路についてどう考えていますか。

- 臨床専門医としてもっぱら診療に携わりたい。
- 一般医として地域医療、僻地医療に取り組みたい。
- 基礎研究者として最先端の医科学研究に取り組みたい。
- 社会医学研究者として社会医学研究に取り組みたい。
- 厚生労働省に勤務して我が国の政策立案に取り組みたい。
- 地域の保健所や保健センター等で地域の保健活動に取り組みたい。
- 国際機関や発展途上国などで国際保健活動に取り組みたい。
- 産業医として働きたい。
- その他 ( )

6. セミナーに参加したきっかけは何ですか (複数回答可)。

- 以前に参加したことがある。
- ポスターを見た。
- 自治医大ホームページの案内を見た。
- 自分の所属する大学の教員に勧められた。
- 他の大学の教員に勧められた。
- 自分の所属する大学の友人に勧められた。
- 他の大学の友人に勧められた。
- その他 ( )

7. 今回セミナーに参加した目的は何ですか (3つまで選択可)。

- 厚生労働省講師による特別講演。
- 他大学の社会医学の教員の講演。
- 特定の社会医学のテーマについてのグループ討議。
- 厚生労働行政の実際について理解。
- 他の大学の教員との交流。
- 他の大学の医学生との交流。
- 厚生労働省医系技官との交流。
- 足尾銅山等へのエクスカージョン。
- その他 ( )



11. 足尾銅山等へのエクスカージョンはどう思いましたか。

( 良かった 悪かった どちらでもない )

※具体的に感想、意見等を書いてください。

12. その他、セミナー全般にわたってどう思いましたか。

( 良かった 悪かった どちらでもない )

※具体的に感想、意見等を書いてください。

13. 今回のセミナーに参加して社会医学に対する見方に変化がありましたか。

( 変わらない 少し変化した 大きく変化した )

※変化した場合、具体的にどのような変化ですか。

14. 今回のセミナーに参加して自分の進路の希望について変化がありましたか。

( 変わらない 少し変化した 大きく変化した )

※変化した場合、具体的にどのような変化ですか。

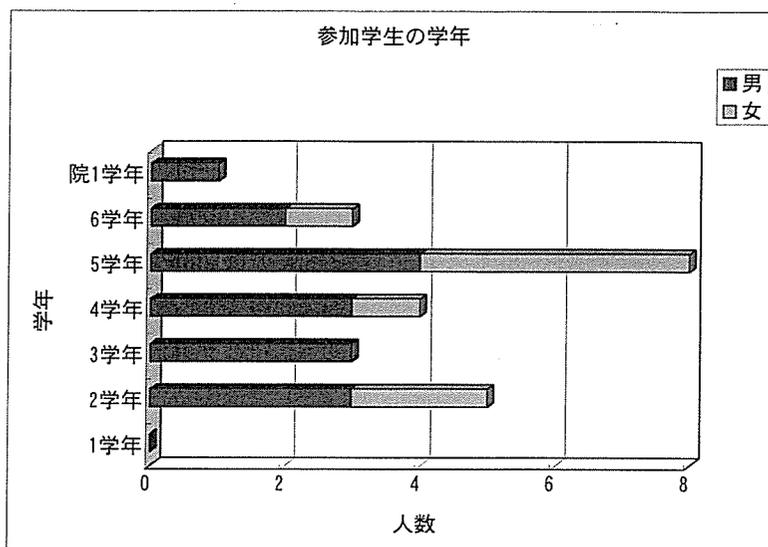
御回答どうもありがとうございました。

# サマーセミナー参加学生に実施したアンケートの集計結果

今回のセミナーを通して社会医学に対する学生の意識がどのように変化したかを調査するためにアンケートを実施いたしました。アンケートはセミナー最終日に学生各自に配布し、回答してもらいました。

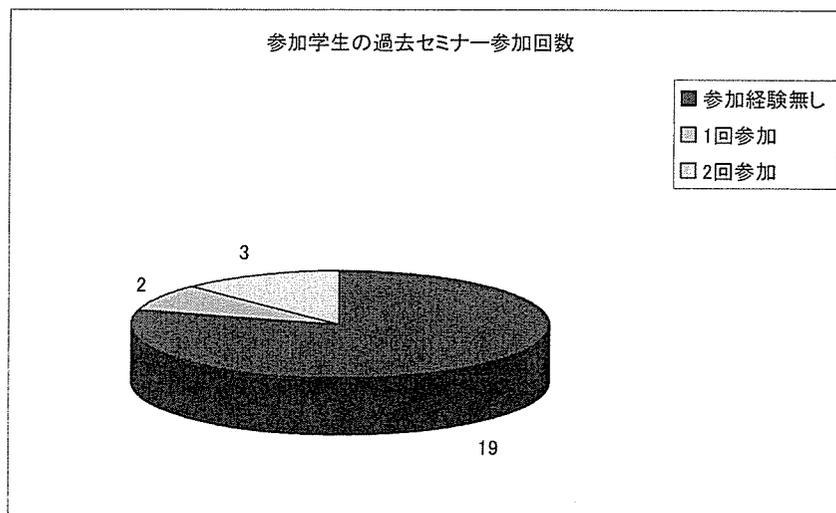
## 1. 学生の構成

### (1) 参加学生の学年



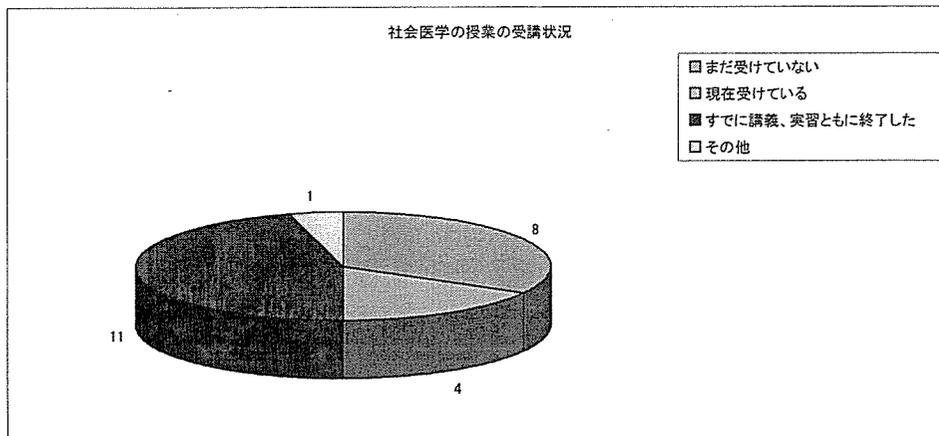
高学年の参加に比べ、低学年、特に2年生の参加が目立った。度々、新聞にも取り上げられる問題も多く関心の高さが伺える。

### (2) 参加学生の過去セミナー参加回数



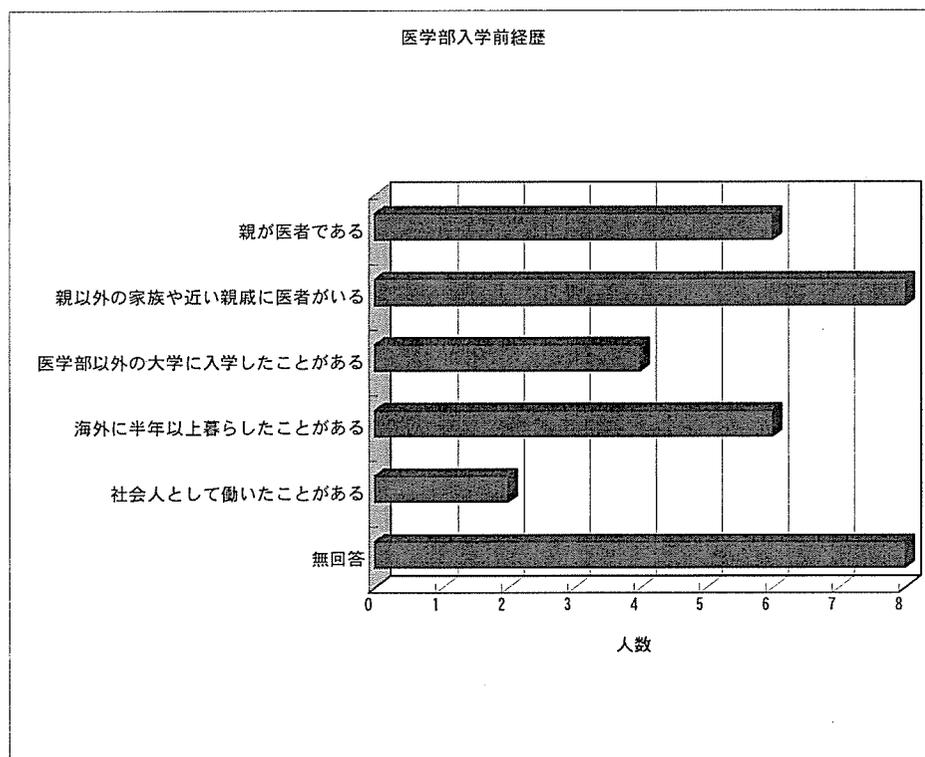
以前の参加経験者は全体の約20%であった。

(3) 社会医学の授業の受講状況



今年は低学年の積極的な参加があり、まだ受講していないものが8人あり、今後社会医学の概論・総論の講義も考慮する必要があると考えられた。

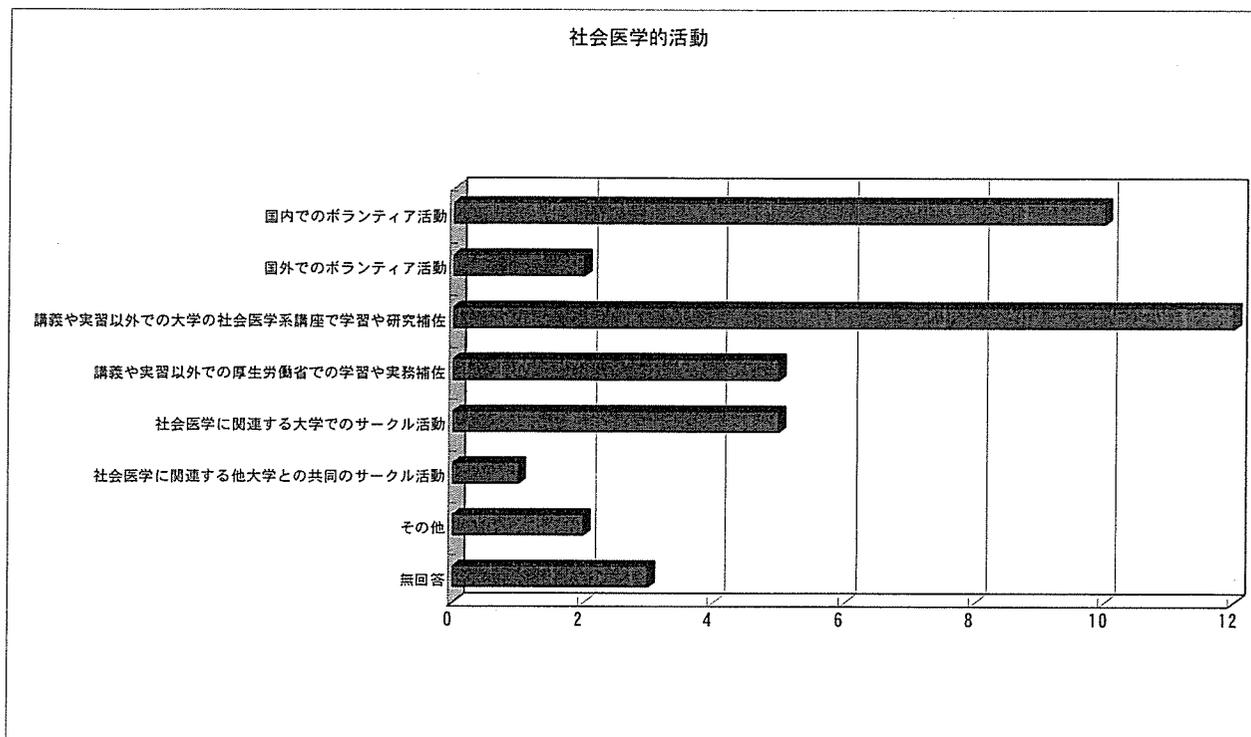
(4) 医学部に入学する前の経歴などで当てはまるものを選んでください（複数回答可）



本人の社会背景として、いろいろな要素があることが伺える。

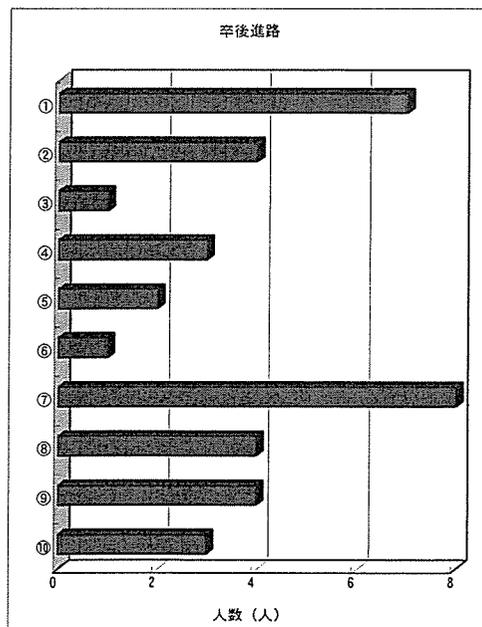
医学部以外の入学経験、海外での生活歴、社会人として経験など、幅広い視野にたつての討論など各人が有意義であったのではないかと考えられる。

(5) 今までに取り組んだ経験のある社会医学的活動を選んでください(複数回答可)



ボランティアやサークル活動あるいは研究補佐などの経験者が大多数を占め、もともと社会医学系への関心の高さが伺える。

(6) 卒後の進路についてどう考えていますか(複数回答者あり)

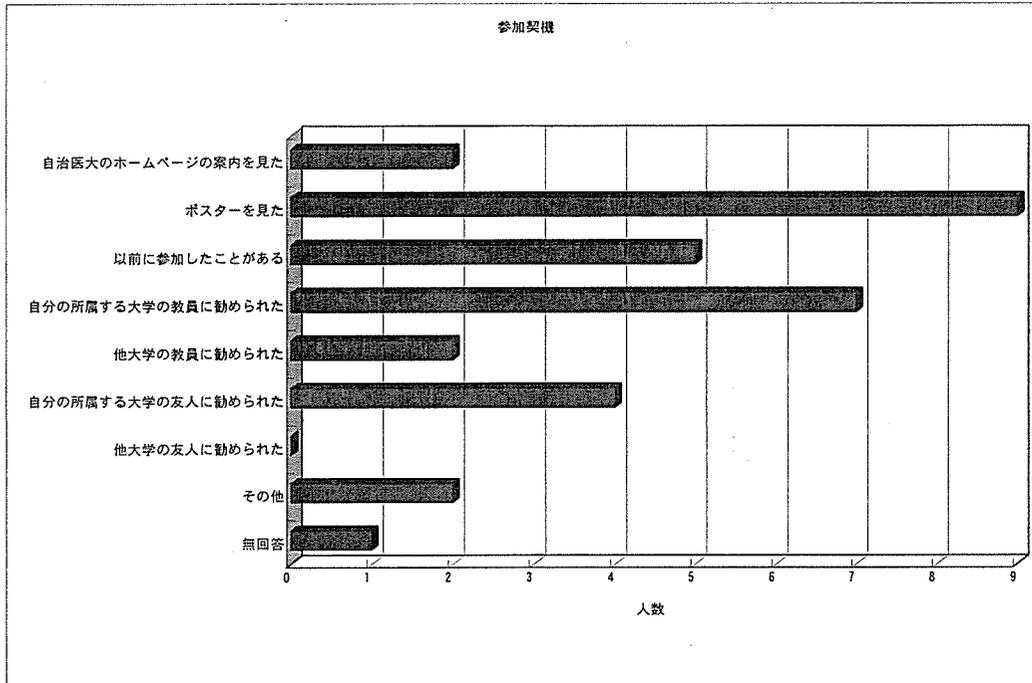


- ①社会医学研究者として社会医学研究に取り組みたい
- ②厚生労働省に勤務して我が国の政策立案に取り組みたい
- ③基礎研究者として最先端の医科学研究に取り組みたい
- ④国際機関や発展途上国などで国際保健活動に取り組みたい
- ⑤地域の保健所や保健センター等で地域の保健活動に取り組みたい
- ⑥産業医として働きたい
- ⑦地域医療、僻地医療に取り組みたい
- ⑧臨床専門医として診療に携わりたい
- ⑨その他
- ⑩無回答

将来の展望として、各自がいろいろなものに対して関心を持っていることが伺える。

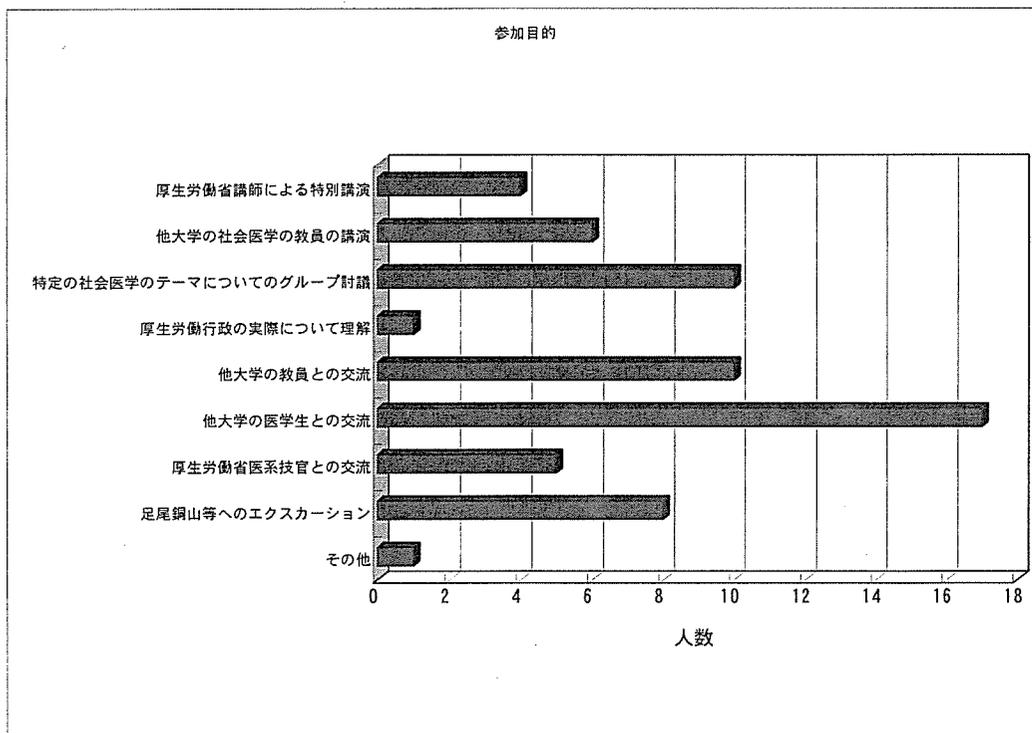
ひとつの物事に対して、いろいろな角度からのアプローチを各自が考えているように見える。

(7) セミナーに参加したきっかけ (複数回答可)

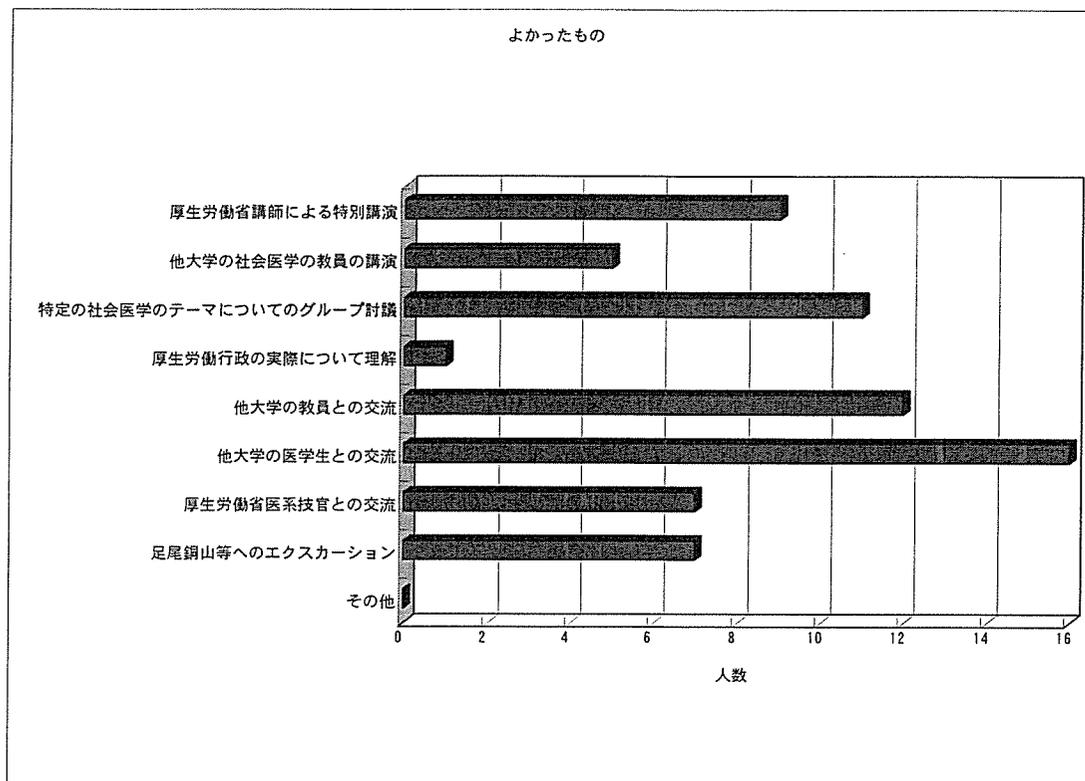


意外にポスターを見たものが多くいた。参加者の社会医学に対する関心の高さを裏付けるものと考えられる。次に多いものは、自分の所属する大学の教員に勧められたというものであった。また、このセミナー参加が所属大学での単位に反映される大学があるのが判明した。

(8) 今回セミナーに参加した目的 (3つまで選択可)



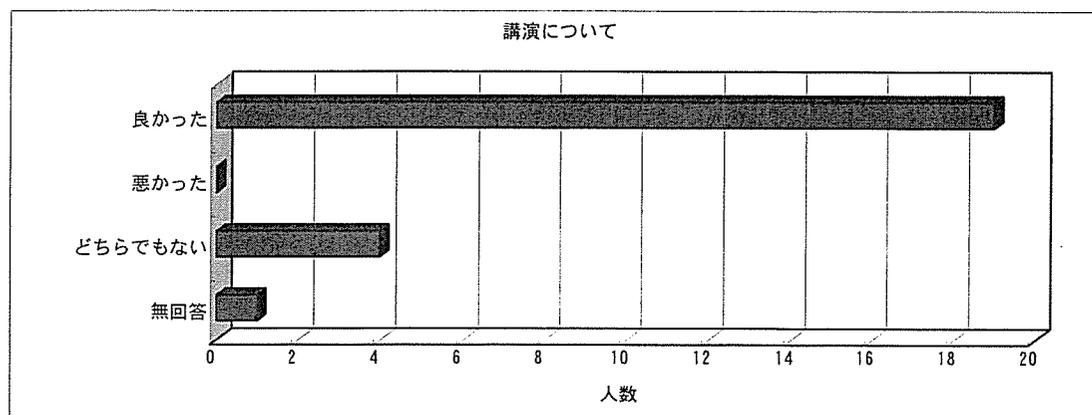
(9) 今回のセミナーで良かったもの (3つまで選択可)



(8)、(9) からわかることは、いろいろな人との交流およびグループ討議を参加目的とするものが多かったが、参加後の結果でも選択した人数に大きな変化はなく、参加者の期待を満足させるものであったということが伺える。

特に、厚生労働省講師による特別講演、厚生労働省医系技官との交流を選択した人数が前後で増加している。これは大学では特別講演など以外で厚生労働省の技官と接触する機会がなかなかなく、大学内では機会に恵まれないためと考えられる。厚生労働省の医療政策など、学生に触れさせる機会が増えれば、関心を持つ学生は確実に増えると考えられ、この分野での学生に対してのアプローチのさらなる充実が必要と考えられ、その情報を学生側も求めていると考えられる。

(10) 厚生労働省講師や大学の教員による講演を聴いてどう思いましたか

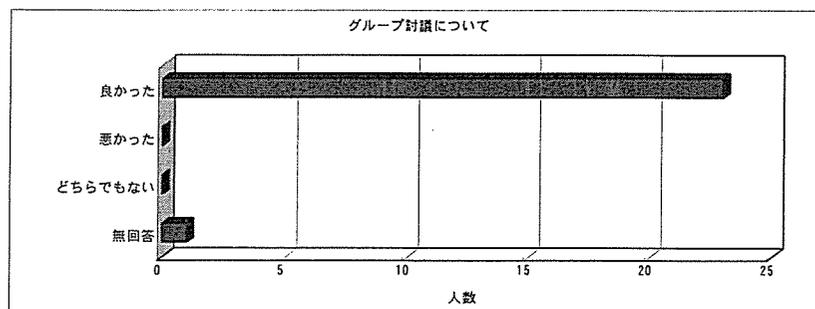


(学生のコメント)

- ・ 社会医学のおもしろさに触れることが出来て、大学で学ぶときのモチベーションとなってよかった。
- ・ いろいろなテーマがあることを改めて認識した。
- ・ 自分の中でだんだんとかもして、将来の自分に役立てられると思いました。
- ・ 日常の学習に戻った時に興味の幅が広がった。
- ・ いろいろな切り口、テーマに触れる機会、契機になった。
- ・ 普段聞けない話、少々難しく感じるところもありましたが特に先生方の研究の話が興味深かったです。
- ・ 普段の学生生活において、聞くことが出来ない先生方の具体的で幅広い内容の講演であったため、様々な面で参考になった。
- ・ 一大学の学生としては聴くことの出来ない幅広い講演で、新たに気付かされるが多かった。
- ・ 大学の教員による授業は、自分の興味があるものも有り、非常に参考になった。
- ・ 自分の大学の講義だと、分野にどうしても偏りが出来てしまうと思うが、様々な大学の先生が話して頂くことによりいろいろな分野に着いて学べて良かった。
- ・ 非常に具体的でためになる講演と専門的すぎる講演がありました。
- ・ 内容が研究的な内容だったので、もっと社会全般に関するものもあって良いと思う。
- ・ 普段、大学では聴くことの出来ない講義が聴けて財産になりました。
- ・ 自分の大学の教員が行う講義の中には、どうしても専門分野以外のことを話さなければならない部分もあり、そうしたところは中味も薄くなりがちだと思うが、自分の専門のところの話が聴くことが出来るため、内容も豊富で濃く聞き応えがあった。
- ・ 厚生労働省の方による講演は、非常に具体的で厚生労働省としての立場のものの考え方が良く理解できた。
- ・ 様々な分野について講演があり、一口に社会医学と言っても多数の考え方について知ることが出来、有意義であった。
- ・ 前回に比べ厚生労働省の方々がたくさんいらしていたこともあり、理解が深まった。
- ・ 行政側の熱意が強く伝わり、すばらしい政策を実施する現場も重要だと感じました。
- ・ まだ講義で勉強していないので、知らないことや曖昧なことが解決できて良かった。
- ・ 上級生にとってはつまらないかも知れませんが、下級生のために「社会医学概論」などの講演を一つ聴きたかったです。
- ・ せっかく多くの先生が来られていたので、各先生から講義も聴きたかった。
- ・ うまく主旨が伝わってくるもの、こないものと両方あったように思います。
- ・ 時間を大幅に延長する講演は良くないと思いました。
- ・ もっとクリアに話してほしい。
- ・ 大学の学外講師による講義とあまり変わらないものもあり残念だった。

大学では、なかなか得られない講義のためコメントから関心の高さが伺える。

### (11) グループ討議についてどう思いましたか



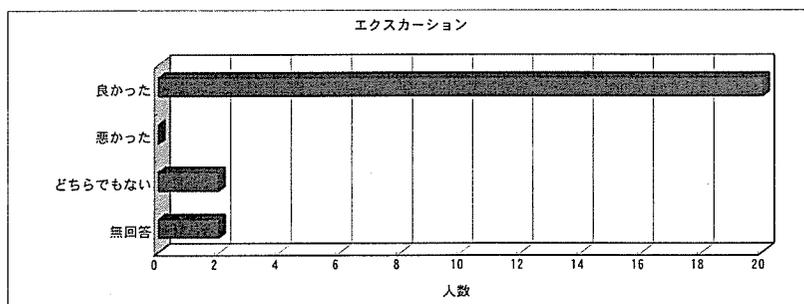
#### (学生のコメント)

- ・一つの問題について、いろいろな学年、大学からの意見を出し合って考えることが出来、良かった。
- ・先生方や班の方たちが導いてくれたこともあり、とてもおもしろかったです。大変広い範囲の中からテーマや問題点を選び、解決策を考えたり検討していく過程は勉強になりました。もっとたくさんの時間がほしいくらいでした。
- ・自分の大学でもグループ討議を行っているが、今回のグループ討議では学年も異なり、社会医学を学んだ方法が異なるために、新たな考え方を聞く契機になって良かったと思う。
- ・自分の視点や考え方がまだまだ狭いこと、知識不足に改めて気づき、班員の方や先生方から物事、問題を解決する際の手法について多くを学び、大変勉強になった。
- ・他大学の友達と本音で意見がぶつけ合えて良かった。
- ・具体的な立案に対し先生方や厚生労働省の方々の厳しい目からの指摘が頂けて勉強になった。
- ・例年に比べようがないほど具体的で幅が広く分かりやすく、飽きが起これにくく、興味がわきました。
- ・学生に司会者をさせるのは、非常によい経験でためになりました。
- ・グループ発表、討議では、あまり経験がなかったので良い経験になりました。
- ・意見交換で思いもよらない意見が出てきたりして良い討論が出来たと思う。
- ・時間の制限、資料が少ない等の点から、全体として荒削りな発表だったと思うが、その分学生としての率直な意見が出てきておもしろく、刺激的だった。
- ・自分にきちんと意見がないと討議をしてもおもしろくないとひしひしと感じました。
- ・学生同士の意見と、専門家の意見はやはり先生方の方の話が鋭いと思いました。
- ・グループ討議について、事前に分担してスライド作りをある程度行っておいたので討議を充実させることが出来た。
- ・チュートリアルのようにお互いの意見を交わすことで問題に対する理解が深まった。
- ・学生同士でテーマから全てを決めて発表するのは大変良い経験になった。資料を集めることも勉強になり良かった。
- ・教員がチューターのようについていたので、調べ切れていない点や考え方が甘い点を指摘してもらえた。
- ・予めテーマを決めておいたため、例年に比べ資料を集める余裕があり、議論を深めることが出来たと思う。
- ・他大学の人と話し合えるというだけで貴重な場だった。
- ・自分たちのとても良い学習になった。
- ・各班とも発表がおもしろく、ためになった。
- ・他の人達の考え方に触れられた。
- ・多面的な視野、視点に気付いた。

- ・充実した議論が出来ました。
- ・難しかったということがよくわかった。
- ・自分の意見を論理的に述べて、説得することは難しかった。それを知れたのは大きな収穫。
- ・いろいろな学年、経歴、積極性のある人がいるので、共同作業や話し合いの進め方、発表の主旨を説明、指導する機会を設ければ、より質の高い一貫性のある発表と議論が出来たと思います。学校でもこれだけまとまった時間を議論できる機会はなかなかないので、スキルを身につける機会として位置づけると、セミナーの魅力が高まると思います。
- ・班以外の人と話す機会がなかったのでいろいろな人と話せるような時間をとって頂けるとうれしかったです。
- ・みんな、自分では思いもつかないような発現をしてくれ、とても興奮しました。一つのテーマについて討論して発表の用意をするのも良いですが徒然と言ひ合うというのも楽しかった。
- ・講義の時間を半分くらいにして、その時間をグループ討論に当ててほしかった。

今回の討議では学生に司会進行役を務めさせることにした。このことは受動的でなく積極的参加を提供し、いろいろな立場を経験することで、発表する側、討議を聞く側、討議を仲裁・進行する側などいろいろな立場を経験することによって、学生自身が幅広い視野に立って物事を考えること、聞くことが出来たのではないかと考えられる。

(12) 足尾銅山等へのエクスカージョンや富弘美術館はどう思いましたか



(学生のコメント)

足尾銅山等へのエクスカージョンについて

- ・個人では見られないところが見れ、見学場所全てが発見という感じで大変良かった。
- ・一般的な観光では見る事が出来ない現状を国土交通省の方が説明して頂いてとても参考になった。
- ・普段絶対に行けないところだったと思うので、かなり貴重な体験が出来ました。
- ・通常では、行けないところに行くことが出来、とても良かった。
- ・単純に楽しかったし、地域の抱えている問題も垣間見えた。
- ・時間のない中、個人では行けないところへ行けたことが良かった。
- ・被害を受けた土地をより近くで見ることが出来て勉強になりました。
- ・通常では入ることが出来ない場所に行け、足尾の精錬所を見て感動した。
- ・土壌への鉱毒のひどかった地域についても学びたかった。
- ・なかなか出来ない体験が出来たので良かった。
- ・貴重な体験になったと思うし、現実としてとらえることが出来て良かった。

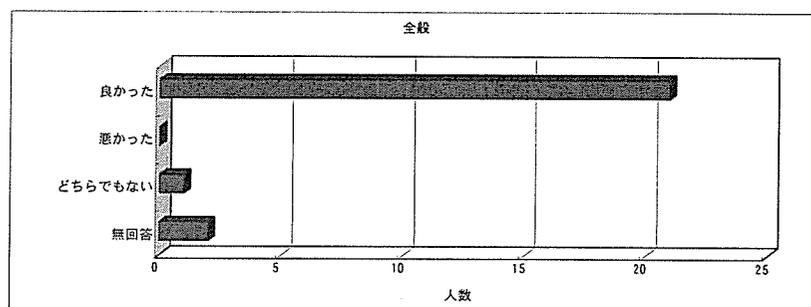
- ・銅山に行きたかった。
- ・公害の爪痕の生々しさを感じる事が出来た。
- ・有名な話の実際を目で確認する事が出来た。
- ・たった一つの工場があれ程の公害を引き起こすことを知って驚いた。
- ・環境保健を考える上で、とても印象的な教材になったと思う。
- ・一回足尾銅山の公害について講演を聴いてからいけば、もっと良かったと思います。
- ・負の遺産がそのまま残っている現場を見る事が出来たのは貴重な体験でした。また、その負の遺産を修復するには、時間、人、金、全てにおいて膨大な量が必要だと言うことが、改めて再認識させられました。
- ・秃げ山と緑のコントラストが、痛々しかった。緑化のために崖で働いていた方々が、埃まみれで仕事していたのを見て、昔足尾で働いていた人達の様子を思い浮かべました。
- ・緑化に長い時間がかかると思うが、実を結べば良いと思う。

#### 富弘美術館について

- ・美術館もかなり心に響く詩を目の当たりに出来、幸福な気分を味わえました。

足尾銅山の衝撃的光景を見ることによって、地域の環境保全・人々の健康など、我々人間が自然あるいは産業とどう付き合っていくかを考えさせるものとなったのではないかと考えられる。

#### (13) その他、セミナー全般にわたってどう思いましたか



#### (学生のコメント)

- ・社会医学はおもしろいと、改めて感じました。
- ・講義はとても充実していました。
- ・ハードスケジュールでしたが、充実していて良かったです。
- ・夜の交流会は大変有意義でした。
- ・時間が足りない、内容は濃いのに2泊では足りないくらいだと感じました。
- ・例年よりもまとまっていて、しかも充実していたと思う。
- ・比較的テーマ、方向性が揃っていて良かったと思う。
- ・前回も感じたが、本当に広い社会医学を体感できる良い機会だった。
- ・最終日の前の日に各班の発表があったらもっと内容を共有できたのではないかと感じました。
- ・他大学の先生や学生の方と交流をもつことが出来て、本当に今後について参考になることが多かった。
- ・先生方と学生の距離が近く、いろいろ話が出来たことが特に良かったです。
- ・先生方も気さくで話をしてくださったり、議論、専門的な話をさせて頂いて、良い体験になったと思う。